

2026年度以降のカリキュラムマップ（文学部英語英米文学科）

文学部英語英米文学科		学部学科 DP番号	科目区分等 DP項目	必修科目			選択科目				
大学全体のDP				英語必修 科目	演習科目 (除卒論)	卒業論文	フォーカス科目				関連科目
							入門科目	言語と 社会	文化と 歴史	芸術と 思想	
DP1【専門分野の知識・技能】	(各学科、各専攻の)専門分野に関する知識・技能を修得している。	DP1-1	英語英米文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		DP1-2	文化的他者とのコミュニケーションにおいて基礎的な技能となる英語力を修得している。また、そのために必要な言語・社会・文化・歴史・芸術・思想に関する専門的な知識の中から個人の関心に応じて必要なものを修得している。	◎	◎	○	○	○	○	○	
		DP1-3	(DP1-3) 言語学の基礎的な概念及び理論を修得し、言語学の方法論を用いて英語や他言語の仕組みを分析し理解することができる。	○	○	○	○	◎			
		DP1-4	英語圏文学・文化の成り立ちを理解し、個々の作品や事象について専門的見地から分析し理解することができる。	○	○	○	○		◎	◎	
		DP1-5	第一・第二外国語習得論や語用論等、英語教育に必要な実践的知識や技能を修得している。	◎	○	○	○	◎	◎		
		DP1-6	主要な英語圏の芸術・思想について熟知し、それらについて専門的見地から分析し理解することができる。	○	○	○	○			◎	
DP2【教養の修得】(広い視野での思考・判断)	人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。	DP2-1	人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。		○	○	○	○	○	○	◎
		DP2-2	英語及び英語圏の文化・芸術・思想に関し、学科教育の基礎をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。		○	○	◎	◎	◎	◎	
DP3【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考)	課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。	DP3-1	課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。		◎	◎	○	○	○	○	○
		DP3-2	言語及び英語教育に関する課題の本質を発見するために、文献に当たり、課題解決に必要なデータなどを収集し、得られた情報を論理的に分析及び考察することができる。		○	○		◎	○		
		DP3-3	英語圏文化・芸術・思想に関わる課題の本質を発見するために、関連文献を調査収集し、作品や事象を的確に解釈・分析して、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。		○	○			◎	◎	○
DP4【表現力、発信力】	自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明確に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	DP4-1	自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明確に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	○	◎	◎	○	○	○	○	
		DP4-2	学術的テーマについての分析、考察、結論づけを少数制の演習(セミナー)での発表やレポート、卒業論文の作成を通じて、他者にわかるように論理的に伝えることができる。	○	◎	◎					
DP5【多様な人々との協働】(コミュニケーション＋協調性＋チームワーク)	多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	DP5-1	多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	○	◎	○					
DP6【自発性、積極性】	学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	DP6-1	学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。		○						